



【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒

『礼節』 正義と節度を守る生徒

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒

【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。

校庭の桜はいつの間にかすっかり葉桜となり、新緑が目には鮮やかな季節になりました。令和7年度がスタートし早1ヶ月が過ぎようとしています。入学・進級した生徒たちは、新しい環境に少しずつ慣れて、学校生活に意欲的に取り組んでいます。校内を回りながら各学級の様子を見ていると、どの学級も落ち着いて学習や活動に取り組んでいる様子が見うけられます。廊下ですれ違った時、自ら進んであいさつをしてくれます。良いスタートを切ることができたと感じています。ただ、多くの子どもたちは、期待と共に不安や緊張の中で過ごしてきたことで、心身ともに疲れも出ていると思います。ゴールデンウィーク中は、有意義な時間を過ごしていただくとともに、お子様の心身の疲れを回復させる休みであってほしいとも思います。また、ぜひこの1ヶ月の学校生活の様子をお子様からゆっくり聴く時間をとっていただきたいと思います。



4月17日部活動オリエンテーション



学校の中庭にタンポポの黄色い花がたくさん咲いています。決して大きく立派な花というわけではありませんが、一生懸命咲いています。タンポポは寒い冬の間じっと耐えて、春が近づきだんだん暖かくなってきたので、ようやく少しずつ葉や茎を伸ばしてきたのです。実はタンポポはとても強い植物で少々雨が降らなくても、またどんなに踏まれても枯れたりしません。どうしてでしょうか。

タンポポは他の植物と違って根っこがとても長く、50cmくらい、長いものになると1m以上にもなります。地面に出ている部分よりも、地面の下の根っこの方が何倍も長いのです。この長い根っこがきれいな上の花をしっかりと支えているのです。

タンポポの根っこは「目には見えないけれど、とても大切なところ」という点で私たちの心と似ています。根っこがしっかりしていれば、タンポポのようにきれいな花を咲かせます。人は笑顔で毎日過ごし、自分の目標に向かって挑戦することができます。

しっかりした根っこを育てるために、粘り強く最後まであきらめない心を育てることが大切です。また、協力・思いやりの心・感動する心など、根っこを強くするために必要な力はたくさんあります。そして、無限の可能性を持った子どもたちに、日光や水、養分を上手に与えていくのは、私たち大人の役目です。これからもご家庭や地域と連携しながら、子どもたちの丈夫な根っこを育てていきたいと思っています。

4月13日に大阪・関西万博2025が開幕しました。連日ニュース等で万博に関する話題が報道されています。毎日海外からの観光客も含め大勢の人が押し寄せているようです。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。」をコンセプトの一つとして掲げています。

ところが世界では戦争や紛争が続いており、日々多くの命が奪われているという現状があります。世界から国や地域の注目が集まる万博が、世界平和の実現につながるような好機になれば良いと思います。

5月28日から3年生は広島・岡山方面へ修学旅行へ行きます。取組の一つとして平和学習を実施します。戦争は最大の人権侵害であることを改めて認識し、生命を尊重し平和を願う態度を養うことを目的としています。

一人で大きな行動を起こすことは難しいかもしれませんが、まずは身近な人たちを大事にしていくことが大切だと思います。その輪が少しずつ広まればやがて世界を動かすような力になります。そして「誰もが安心して暮らせる」世の中になればと思います。

